

# Annual Report

## 夢よもっとひろがれ

# 2024

- 1.一緒に歩くと楽しいです
- 2.みんなで描いた季節のコーヒラベル、可愛いね
- 3.祝ぎょうざれんデザインコンクール入賞！
- 4.こらぼカラオケ大会♪
- 5.こむぎ粉袋アートバッグの紐づけ
- 6.ベッカライフジムラさんでモーニング♪
- 7.選挙。大切なこの一票！！
- 8.ハッピーすまいるフェス 大好きな職員さんと♪
- 9.ひるがの高原でソフトクリーム
- 10.隣人まつりのチラシを作ってます
- 11.リハビリも楽しんで
- 12.全力で、根っこから草引きだ！
- 13.積立旅行で京都へ 船の上から穏やかなひと時
- 14.満開の桜の下でピース♪
- 15.僕はいぶきが大好きです 30周年記念展示にて
- 16.積立金旅行のUSJにてエンジョイ♪
- 17.自分たちが携わった成果が店頭と並んでたよ！
- 18.大事に育てた野菜を注文くださるカフェへお届け
- 19.ほとりの内壁をぬらせてもらい、みんなドキドキ☆
- 20.創作の時間たのしいね♪

- 21.秋の味覚、さつまいも採れたよ！
- 22.寄ってらっしゃい見てらっしゃい！
- 23.ヤンマーミュージアムで足湯を楽しみました
- 24.気持ち良い天気だね。ホントだね。
- 25.切り文字でメリークリスマス見尾谷先生と
- 26.玉ねぎの処理作業。丁寧な仕事です
- 27.分別作業、真剣に取り組んでいます
- 28.こらぼボウリング大会 笑顔でいよ〜
- 29.すてきな音だね♪心弾む音楽療法
- 30.野菜のお届けです
- 31.慎重に、染液をこしています
- 32.みんなで紅葉を見にいきました
- 33.待ちにまった給料日！！！！
- 34.着物でおめかし。うれし恥ずかし
- 35.美味しいバナナジュースができました！
- 36.大掃除 今年もありがとうの気持ちで
- 37.積立金旅行の東京ディズニーシー
- 38.今月は何を選ぶうかな
- 39.コーヒーどうぞ〜フレブレンド試飲会
- 40.新茶収穫しました！



## ごあいさつ

皆さん元気でお過ごしのことと思います。

さて2024年7月には、いぶきは法人設立30周年を迎え、記念式典・記念事業をぎふメディアコスモスで開催しました。それから約1年が経過しましたが、いぶきは次の30年に向けての歩みを着実に進めています。皆さんのご理解とご協力に感謝いたします。この度2024年度の年次報告書を発刊いたします。是非目を通して、いぶきのこれまでの歩み、現状、これから歩もうとする将来の構想を知っていただきたいと思ひます。昨今の日本における障害者福祉をめぐる状況は、多数の支援施設とグループホームが設立されて、施設の数だけからすると障害者の需要に応えられる体制になりつつあるようにみえます。ところが厚生労働省が「サービス給付」の単価を引き続き低く押さえているため、施設に勤務する職員に対し、他業種並みの給与手当等を支給することができず、人材の確保が困難な状況が続いています。株式会社が施設の設立と経営に参入し、利益追求を目的とするあまり一部の事業所で不正その他の混乱が引き起こされています。

このような状況では、障害者の方やご家族は、安心してサービスを受けることができず、将来に不安を感じておられる方も多いのではないのでしょうか。

いぶきは、障害者権利条約の定める基本理念を、現在の日本の現状にあてはめて、仲間を中心にした施設づくり、仲間と家族の願いが少しでも多く実現できる施設運営に取り組んできました。このような努力の積み重ねが一定の成果を上げてきております。いぶきは、今後も施設開設の初志を守り、努力と工夫を重ねていきます。皆さんにおかれましては、いぶきの理念と諸活動について理解いただき、可能な範囲で結構ですので、支援を続けていただけるようお願いいたします。

2025年7月吉日



理事長 横山 文夫

## 事業内容

(2024年4月現在)

就労継続支援B型	1カ所	定員20名
生活介護	7カ所	定員140名
共同生活援助	4カ所	定員48名
計画相談支援	1カ所	
短期入所	2カ所	定員6名
居宅介護	1カ所	

### 障害福祉サービス事業

利用者数  
通所147名・グループホーム47名



## 基本理念

私たちいぶき福祉会は、どんな障害のある人も、生き生きと暮らすことができる地域社会をめざし、障害のある方自身とその家族、職員、地域の人々が力を合わせて活動してきました。

重い障害があっても、希望と誇りをもって穏やかに暮らせる地域づくりは、誰にとっても安心して暮らすことができる社会につながります。私たちは、一人ひとりがかけがえのない存在として当たり前生きる権利と尊厳を守り、歩んでいきます。

## Vision

私たちがかなえたいこと  
ケアを文化に

## Mission

私たちがとりくむこと

わたしたちは、「仲間」とともに、未来を物語り、お互いにケアしあい、協働する社会をつくりま

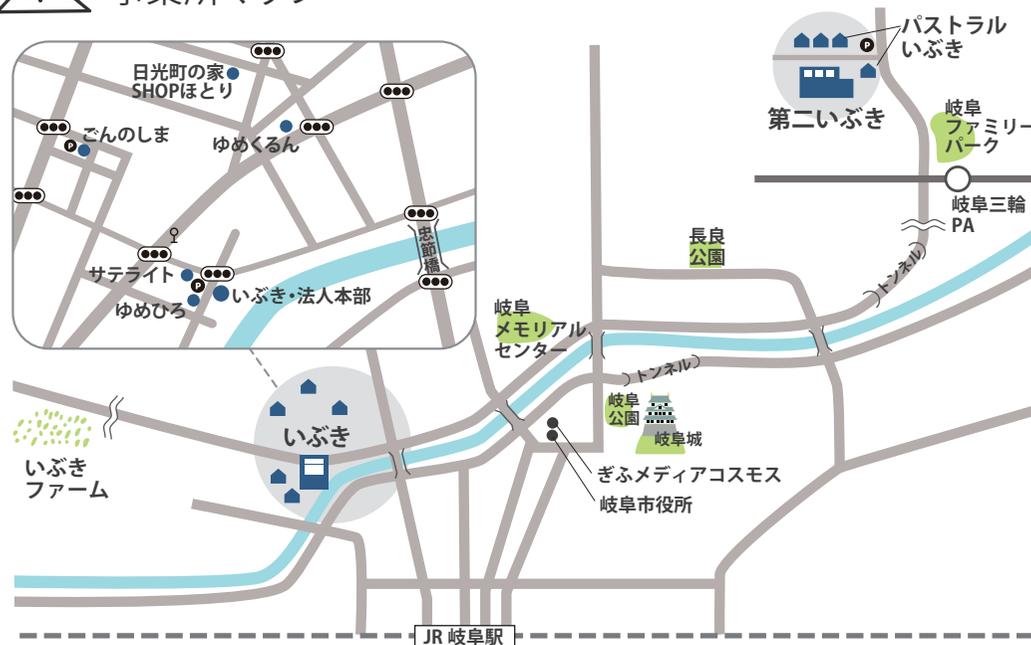
## Philosophy

私たちの行動指針

権利：障害者権利条約の観点をふまえ行動すること  
仲間：仲間の願いを大切にすること

ケアと協働：おたがいさまの関係を尊重すること  
寛容さを忘れないこと  
声なき声に耳をかたむけること  
ことばと対話を大切にすること  
多様な人との関係づくりを楽しむこと  
社会の幸せを考え、働きかけつづけること  
心躍る瞬間を大切にすること  
学びつづけ、学びあうこと  
失敗をみんなの糧にすること  
信頼し、創造しつづけること

## 事業所マップ



# IBUKI 30th anniversary

2024.0705→0710

いぶきの活動は本当に豊かです。それは多様な人たちができることをもちよって、一人ひとりの願いをかなえてきたから。かわりし頃の豊かさは、協働する社会をめざす私たちの誇りでもあります。

- 笑い声があふれるいぶき
- のんびりしたいいぶき
- 不器用ないぶき
- 一生懸命ないぶき
- 汗まみれないぶき
- 悔しくて涙するいぶき
- 丁寧に對話するいぶき
- 関係づくりを楽しむいぶき
- クリエイティブないぶき
- ワクワクするいぶき
- 学びつづけるいぶき
- 信頼しあういぶき

どれも本当のいぶきです。みんなで作ってきたいぶきです。きっとこれからたくさんの物語が生まれるにちがいありません。わたしも、あなたも、かけがえのないアクターのひとりです。

## 展示に込めた想い。 私たちが描いた風景

山本 友美

記念展示を「みんなのギャラリー」で開催するにあたり、300㎡もの会場を埋められるか、最初は不安でいっぱいでした。しかし、展示内容を一つひとつ組み立てていくうちに、30年間で積み重ねてきた膨大な情報や、皆さんに伝えたいことが溢れていました。いぶきは、仲間たちの願いに動かされた多くの人々の信念によって誕生し、何度も挑戦を繰り返してきました。今回の展示を通して、その歴史の重みを改めて実感することができました。この展示では、いぶきの過去・現在・未来をテーマに、仲間と共に歩んできた私たちの日常を、動画や写真をたくさん使い丸ごと体感できる空間を創造しました。これまで支えてくださった方々に感謝を伝えたい、普段なかなか会えない仲間、職員、ご家族にもう一度ここで、想いをひ

とつにする場にできたらという願いがありました。そして、何よりも仲間たちが自分たちの作り上げてきた世界に誇りを持てるような時間にと願い、デザインに落とし込みました。未来のコーナーでは、いぶきが描く2040年の暮らしをイラストレーターのすぎやまえみこさんに描き下ろしていただき、その線画を机いっばいに広げて塗り絵コーナーを設けました。会期中は、本当に多くの方々に立ち寄っていただき、いぶきを思い思いに感じていただけたことと思います。嬉しい感想をいただいたり、一緒にいぶきの歴史を振り返ったりと、かけがえのない時間を過ごすことができました。この展示の実現にご協力くださった皆様に、心より感謝申し上げます。

### いぶきの原点から歴史をひもとく



古い写真とともに紹介しました

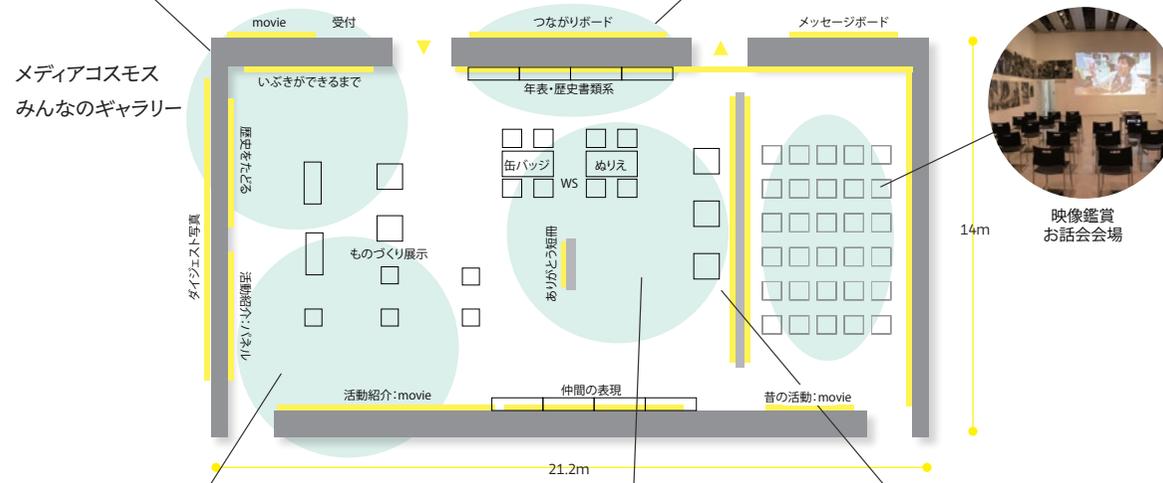
じっくりと眺めるすがた

### 30年のあゆみ年表・資料・つながりパネル



年表と20年前に作成された巨大ロール写真

つながってくださる団体を可視化



### 活動パネル・ものづくり展示・ムービー



全事業所のものづくりを展示

百々染ストールのやさしい揺らめき

### 参加型ワークショップ・協働団体の展示



大盛況のぬりえコーナー

TASCぎふ:手と精神・展示物

## ギャラリーで生まれた仲間と来場者のエピソード

### みんなの思い出と歴史

開催された「夢よもっとひろがれ展」では、いぶきの30年の歩みが静かに語りかけてきました。白い空間の天井から百々染(ももぞめ)のストールが優しく揺らめき、来場者を温かく迎える中で、私たちが願った「過去と現在、そして未来をつなぐ場」が確かに生まれていました。



いぶきの起りを振り返る展示にて

会場のあちこちで、懐かしい写真の前に立ち止まる人たちの姿がありました。高瀬さんは若い頃の写真をを見つけ、「高瀬くん！」と飛び跳ねて喜び、岩田さんも10代の頃の自分の写真の前で同じポーズでカメラに向かって微笑んでいました。「こんな時代もあったね」という言葉には、時の流れへの深い感慨が込められていました。堀井さんが「僕たちのバッグだ！」とばかりに百々染のバッグを穏やかな表情でそっと触れ、嬉しそうにしている姿も印象的でした。

昔を知る仲間たちが新しい職員に「あの頃はね…」と



年表を眺めて懐かしいね！〇〇さんもいたよ、みんな若いね～

語りかける場面も見られました。原さんは横幕さんが写っている写真を見て、一緒に袋の仕事ががんばってきたんだよと懐かしんだり、服部さんはゆめひろ共同作業所の前身のうずら共同作業所のことを語ってくれたり、岩井さんと正木さんは昔かりんとうを作っていたパスタマシンを感慨深く眺めたりしていました。樋口さんは永田さんの金髪時代の写真を指差しながら「こんなところにおった！」とうれしそうな声をあげ記念撮影を求めたりも。亡くなったりいぶきを離れた仲間や職員の名前も楽しい思い出として登場しました。職員や保護者の方々にとっても、この30年の重みを感じる機会となりました。寺澤さんのお母さんはロール写真を見て、「陽祐も古田さんも最高の笑顔で」と当時を懐かしみ、山元さんのお母さんは「美穂はがんばってきたんだよね。いぶきが大好きで大好きで」と気持ちを込めて話してくださいました。



巨大写真の展示は、車椅子の仲間にも観やすく、ゆったりと鑑賞しました。

### 思いがけない出会い

「ほっぺ」のメンバーたちは、りすのほっぺアンバサダーの粥川なつ紀さんとぼったり会って思わずハイタッチ。アンバサダー10周年だとわかって、記念ジャムパーティを開催することになりました。

インターン中の日本福祉大学の学生たちの学びの機会にもなりました。写真や商品の説明をしながら、職員の熱量も伝わっていたと思います。第1回いぶきまつりのステージの写真に当時中学生のご自身が写っていることを教えてくださった方もおられました。



賑わうギャラリー 手前：オリジナル缶バッジワークショップ、奥：ものづくりとパネル展示

### 広がるギャラリーの影響

ギャラリーの影響は日常にも広がりました。仲間の絵画を見た竹村さんが「感動した。俺も絵が描きたい」と意欲的になり、ホームで絵を描くようになりました。夕食時には自然とギャラリーの話になって昔話に花が咲きました。昔を知らない職員が仲間に教えてもらうことがたくさんあって、和やかな団らんとなりました。高力さんが大きな額縁に飾られた自分の写真を見て「わあ！」と驚きながら「見てみて！」と指差して笑ったり、小川さんが自分の画集ファイルを見ながら「これ、わたしの？」と嬉しそうにする姿も。そんな一つひとつの瞬間が、このギャラリーの深い意味を物語っていました。

### 受け継がれる物語

少し奥まった一角に、社会福祉法人いぶき福祉会第1回理事会の議事録が展示されていました。紐で綴じられた書類の日付は法人登記前夜の1994年7月7日午後8時。数々の節目を越えて、これまでを担ってきた人と、未来を担う人が一緒に語り合う場になったことを、心から嬉しく思います。いぶきの歩みは一人ひとりの物語の積み重ねであり、それらの物語が次の世代へと温かく受け継がれていく。そんな光景を目の当たりにできたギャラリーでした。「やってよかったなあ」と、心から感じています。



## 30周年記念日に「ほとり」をOPEN!



### オープン、そして1年

2024年1月から4月にかけて実施したクラウドファンディングでは、275名の方から3,494,000円ものご支援をいただきました。5月には改修工事に着手し、約2ヶ月後のいぶき30周年記念日7月8日にショップ「ほとり」を無事にオープンすることができました。2022年に閉店した「ねこの約束」から念願だったショップの開店が叶い、たくさんの方に応援していただいたことに、改めて心より感謝申し上げます。

### 地域に根ざした憩いの場へ

オープンから1年。この場所でたくさんのお会いや体験を仲間たちと共に重ねてきました。幼稚園や小学校から帰ってきた子どもたちが気軽ににおしゃべりに来たり、仲間と一緒に折り紙を折ったり、駄菓子コーナーに手作りのポップを作ってくれたりする姿があります。これまで知らなかった人たちと、少しずつ一緒に時間を過ごす中で、笑顔や言葉が増え、人と人との関係が深まっていくのを日々実感しています。仲間たちがこの輪の中に自然に溶け込んでいる、そんな空間が持つ力の大きさを感じずにはいられません。これからも、仲間とともにたくさんの物語を紡いでいきたいと思っています。みなさまもぜひ、お立ち寄りください。



# 活動と目指すすがた

一開かれた対話と創造の場をつくる

いぶぎは150人の仲間の活動と暮らしの場です。ここに集う人たちの営みは、枠組みを超えて人と人を結び、共感と協働をうみつけています。これからの社会に欠かせない安心と信頼のモデルとして、私たちは「開かれた対話と創造の場」をつくっていきます。

## Mission

目指す  
取り組み

### いぶぎの活動

- 1 いのちと生活を支える
- 2 思いを育み役割を作る
- 3 つながり価値を創る

## Philosophy

12の  
行動指針

ソーシャルキャピタルの高まり

### 目指すすがた

## Vision

ケアを文化に

- 仲間** 地域で自分のやりたい暮らしを選び、給料と年金でいきいきと生活している
- 職員** 生産性や効率だけではない価値を大切に、協働を楽しみ、誇りをもって働いている
- 地域** 障害に関係なく、多様な人が認め合う存在となり幸福感が高まっている

# 活動を支えるお金

社会福祉法人の基本的な運営費は公的財源でまかなわれます。しかし、わたしたちの目指すものを実現するには、十分ではありません。寄付や会費によって、多額の資金が必要な施設や備品、車両などが整備でき、運営費を仲間の活動や職員体制の充実にあてることができます。また、運営費は仲間の給料財源にはできません。そのため、仲間が関わる事業をより魅力あるものにし、仲間の給料を増やせるよう努力を重ねています。

財源

使い道

### 公的資金

(国の定める基準による運営費)

国・自治体からのサービス給付

日中活動支援 暮らし相談支援 地域協働

- ・職員人件費
- ・仲間の支援に伴う費用
- ・施設の維持管理費など

### 寄付や会費

- ・いぶぎファミリー会費
- ・助成金、寄付、GHHP\*
- ・クラファン支援金

- ・グループホームの新築や修繕
- ・仲間の活動や仕事に関わる設備や環境整備
- ・送迎車両の購入
- ・地域との交流や協働や学習
- ・働きやすい職場づくり

### 事業収益

(仲間が生産・販売などに関わる)

- ・ネット販売・定期便
- ・卸販売・パザー
- ・クラファン返礼品

### 仲間の給料

増やしたい!

いぶぎの活動

1



# いのちと生活を支える

- グループホーム ● ショートステイ ● ホームヘルプ ● 相談支援

おいしい空気を胸いっぱい吸い込んだり、楽しくおしゃべりしたり、好きなところにでかけてみたりすることが、自分だけでは難しい仲間たちもいます。だからこそ私たちは、一人ひとりのねがいに丁寧に寄り添いながら、安心できる居場所や支えてくれる人がいる暮らしとともに作ります。



ハッピーすまいるフェス、オープニング演舞



親なきあとを考えるワークショップ



グループホームのみんなで、休日のお楽しみ

## トピックス

- ケアリングカフェ開催 (10月・12月・2月)
- 「第2回ハッピーすまいるフェスティバル」開催
- 親なきあと学習会開催 (8月・2月)
- 30周年記念「夢ももっとひろがれ展」(7/5~7/10)
- JDF能登支援センターへ職員派遣 (5/11~5/18)

## こんな1年でした

新型コロナウイルスが5類に移行して1年以上が経過。他の疾病を含め、感染防止への意識が多様化し、神経を使いながらの生活が続きました。医療面や家庭環境も鑑みながら、仲間の生活の質の向上につとめました。継続的に取り組んでいる親なきあと問題では、オンラインでのエンディングノートの公開をしました。また、岐阜県福祉事業所連絡会との合同学習会では多くの方にご参加いただきました。

## なかまのすがた

### 仲間の生活を支えていく、チームづくり

可児 恵里奈

毎日変わらない日常のほうが、心配ごとが少なく、仲間にとってもストレスが少ない生活かもしれません。けれど、「親が元気なうちにできること」を考え、挑戦している家族も多くなってきました。その挑戦の先には、仲間のことを知りたい、一緒に支えたいと思う支援者との出会いがたくさんありました。寺澤さんと土田さんはグループホームで訪問リハビリを行っています。理学療法の先生がくるのを楽しみにしていて、先生と様子を共有することで仲間の機能維持につな



たくさん歩いています



リハビリがんばっています

がっています。竹地さんは月数回ショートステイを利用しています。ショートステイ先の職員と日中の職員での情報共有することで、ステイ先でも安心して過ごせるようになってきました。経験を重ねることで、自宅以外でも竹地さんらしく過ごすことができ、知ってくれている支援者が増えました。仲間がもっている力を信じて、医療や福祉の支援者同士がチームになること。今後も学ぶことを続け、仲間の意思に寄り添い、安心できる生活を支える一員になれるよう努めています。

\*GHHP(ぎふハッピーハッピープロジェクト):社会貢献に取り組みたい企業や団体と、地域の課題解決に取り組むNPOが協力して寄付つきプロジェクトを開発し、売り上げの一部が寄付される取り組み



## 思いを育み、役割を作る

- 生活介護 ● 就労継続支援B型

工房でモノづくりをしたり、楽しく表現したり、畑仕事や販売まで、ここにはいろんな活動があります。役割があり、ともに取り組む仲間がいて、安心して自分の気持ちを出せる居場所があります。社会の一員としての誇りを感じ、障害年金と合わせれば暮らしていけるだけの給料の実現も目指します。



きょうされん東海ブロックに参加



ぎふ女のすぐれもの認定式



みんなが作った商品を心を込めて詰めています

### トピックス

- 第6回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会 金賞、銀賞、銅賞受賞
- クラウドファンディング「ねこの約束をもう一度」
- 「紅茶蜜」ぎふ女のすぐれもの2024認定
- 岐阜の小さな隣人祭り開催

### こんな1年でした

「岐阜の小さな隣人祭り」や定期販売「tabita便」などをはじめとして、製品づくりにとどまらず商品管理、納品、関係を育む活動や表現活動も仲間の仕事として位置づけて取り組みました。活動の裾野がじわじわと広がり、本年度は就労支援の会計も改善。ものづくりや表現の場が社会に認められ、受賞や評価の機会も増え、大きな励みとなりました。

### なかまの すがた

## 水上さん、新たなステージへ!

佐藤 健太郎

岐阜市リサイクルセンターで福祉就労(いぶき利用)をされていた水上真さんが、昨年12月からいぶき福祉会の職員として新たな一歩を踏み出しました。何事にも全力投球の水上さんは、ペットボトルの選別作業でも常に先頭に立ち、「ありがとう」「がんばった」と自分にも仲間にも積極的に声をかけ続けています。この日々の積み重ねが、水上さん自身だけでなく、職場全体に大きな力を与えています。職員となり、給料日が25日の振り込みに変更された際も、水上さんは戸惑うことなく笑顔で給与明細を手



真剣なまなざしで作業に打ち込みます



初給料日、がんばったねと思わず万歳!

していたのが印象的でした。変わらず全力投球の水上さんは、朝のラジオ体操にも以前にも増して力強さが増し、自信に満ち溢れています。周りからは「水上さんはすごい」と一目置かれる存在となり、「水上さんのようになりたい」と挑戦する気持ちが職場全体に広がっています。職場の団結力もさらに増し、私たちも水上さんと共に成長できることを誇りに感じています。彼のがんばりは、周囲にも前向きな変化を呼び込み、これからの私たちに大きな活力と勇気を与えてくれています。



## つながり、価値を創る

- いぶきファミリー ● にっこりえんがわマルシェ ● 各種プロジェクト

いぶきは新しいモノやコトや場を次々と生み出しています。そこは人と人が出会う場所でもあります。障害のあるなしにかかわらず、新しい協働が生まれ、ただ楽しくもつつながりたいと思える場です。多様な役割を担いあえる多様な人の集まりはとても寛容で、新しい価値はそんな場所から生まれます。



ぎふハッピーハッピープロジェクト活動報告会



えんがわマルシェで毎回大人気の体験ワークショップ



ねんりんピックプレ大会にて

### トピックス

- にっこりえんがわマルシェ(月1回)
- ショップ「ほとり」オープン(7月8日)
- 日光町の家緑化事業
- ぎふハッピーハッピープロジェクトの実施
- ゆめ水族園開催
- こよみのよぶね参加
- ねんりんピックプレ企画参加
- チャリティーサンタ

### こんな1年でした

「ほとり」がオープンし、お店の前も芝生になり、毎日子どもたちが自然と訪れ、仲間と日常的にふれあう開かれた場が形となりつつあります。各所で、コミュニティーガーデンやマルシェ、共同学習、ラジオ番組の制作など、地域のさまざまな人との協働を重ね、新たな出会いや役割が生まれました。障害のあるなしを超えて関わり合う、楽しくつながる場が広がり始めています。

### なかまの すがた

## 「こらぼ」な挑戦

古川 祐多

第二いぶき「こらぼ」では、新しい仕事にチャレンジしようと、関市のカフェアダチさんとコラボしてオリジナルコーヒーを作りました。ブレンドを決めるための試飲では、コーヒー好きの五島さんをはじめ仲間たちは、あまり経験したことのない雰囲気「何が始まるのかな?」と期待が高まり、目を輝かせていました。そしてコーヒー豆の袋が開くと部屋中にいい香りが広がり、ゆっくり注がれていくコーヒーを待ち遠しそうにじっとみつめていました。また、コーヒーのラベルは仲間たちと季節の絵を描い



みんなでラベル貼り



フレンドお披露目会

で作成しています。繰り返し作業を重ねていくことで、竹内さんはラベルを貼り終えたコーヒーをにっこりと嬉しそうに眺めています。飲みやすい味に仕上がったコーヒーはすでにたくさんの方に飲んでいただいております。豆を販売してほしいというお客様や、お店に置かせてほしいという声も届くようになってきました。こらぼの自信の一杯「フレンド」を通してさまざまな方とつながりながら仲間の姿をゆっくりと広げていきたいと思っています。

# 新たなつながりと、育んだプロジェクト

たくさんの対話が生まれ、私たちや地域を支える大きな力となっています。



全3回

## ケアリングカフェ

ケアをテーマに多様な知見のある方を招いて対話を重ねるお話を3回開催しました。専門や地域を超えて協働しあえる方々をゲストに招いて、いぶき関係者だけでなくさまざまな職種や分野の方にご参加いただき、和やかに学びを深めることができました。ケアを文化に、多様な人との関係づくりを楽しみ、おたがいさまの関係を尊重する対話と協働の場となりました。



10月

## 日光町の家緑化

公益財団法人高原環境財団様の助成を受けて、日光町の家の前庭が全面芝生の庭に生まれ変わりました。10月23日には樹木の植樹式をし、仲間や地域のみなさんと楽しく植えました。ふかふかな芝になり、足の不自由な仲間が安心して移動することができます。近所の子どもたちが遊ぶ姿も見られます。シラカシはどんぐりの実がなります。仲間や子どもたちと一緒にどんぐり拾いをできるのが楽しみです。



5月

## 能登半島地震の災害支援

2024年元日に発生した能登半島地震は、大きな被害をもたらしました。いぶき福祉会も加盟している「きょうされん」も日本障害フォーラム(JDF)を通して復興支援を行いました。2024年5月、第1クールに職員1名を派遣し、現地にある障害者施設や避難所ですぐに暮らす障害のある仲間の支援にあたりました。まだまだ復興半ばの状況が続いています。



11月

## 全国ナイスハートバザール2024inぎふ

全国社会就労センター協議会(SELP)が毎年全国2か所で開催しているイベントで、障害者の就労と生産活動を支援し、全国の事業所が手がける魅力ある手づくり品を紹介・販売する場です。岐阜県では初開催となり、11月21日～25日、カラフルタウンにて県内およびSELP加盟の全国の事業所が製造した食品・雑貨・日用品が一堂に並び、多くの来場者でにぎわいました。



8月

## こども記者体験

次世代を担う子どもが、障害のある人の「声なき声」に触れることで、新しい価値観と出会う機会、考え、伝えることができる人を増やしたいと願っています。今回は12名の小学生が職場体験し、職員や仲間たちに楽しく取材しました。子どもたちの自然な関わりは、私たちも感銘を受けました。今後も、誰もが安心して暮らせる地域の担い手を育てていきます。



2月

## 親なきあとの取り組み

2022年から続ける親なきあとの活動として本年は、中部学院大学・兼松博之先生と実施した意向調査の報告学習会(8/27)や、佛教大学・田中智子先生を招いた学習会(2/17)を開催しました。また、家族とともにエンディングノートを作成する活動を継続するとともに、作成手順を検討するワークショップも行い、記入例や使い方などをまとめ、ウェブ上に公開しました。



8月

課題解決型ワークショップ

## メディアを活用した地域コミュニティ創造～ラジオ番組制作で考える地域づくりの可能性

日本福祉大学の5人の学生が仲間と一緒に活動しながら、第二いぶきの日常の音の風景を収録。関わりを深め、感度をあげ、想像し、伝えたいことを募らせて作り上げた番組は、仲間や職員からも大好評でした。「いぶきのえんがわラジオ」で公開しています。



2月

## ゆめ水族園開催

申し込みをし続けて3年、ようやく実現しました。ゆめ水族園とは、映像、音楽、揺れるスクリーンを組み合わせたやわらかな空間の中で、視覚、聴覚、触覚などを通じて豊かな感覚刺激を届けるセイコーエプソン様の社会貢献活動です。ファンタスカー(移動式プロジェクター)を3週間レンタルし、仲間たちや地域の方々や保育園の園児たちも招待させていただき、ともに交流する場となりました。

partner's  
パートナーズボイス  
VOICE

いぶきとともに、歩んでくださる方々に思いを語っていただけます。

No.004

第二いぶきヘアカットを担当して下さる

理容師

田中 伸明さん



様々な理由によって美容室や理容室に行くことが難しい仲間にとって、定期的に髪を切るということはとてもハードルが高いことです。第二いぶきへ長年にわたってヘアカットをしに来てくださっている田中さん。ダンディーで物静かな方ですが、いつも仲間たちに優しく声をかけてくれます。月に一度田中さんに出会えることを楽しみにしている方も多く、カット後は「さっぱりしたよ」「かっこよくなったね」とうれしそうに話す声をよく耳にします。(可児 恵里奈)

## 安心して身を任せてもらえるよろこび

いぶきの職員さんがお客さんとして私のお店(サムソン&デリラ メンズクラブレフ)にきた際に、ヘアカットの依頼をされたことがいぶきさんに来るきっかけです。他の障害者施設にもカットに行っていたので、快く引き受けました。まさかこんなにも長い間お世話になるとは思ってもいませんでした。毎月仲間たちに会うことを楽しみに来ています。



気持ちよさそうに、リラックスしています

今年で26年目になりますが、まず最初に思い浮かぶのは出会ったころの石原さんです。よく動くので恐る恐るカットをしていて、動きに合わせてカットをしています。素敵な笑顔は今も昔も変わらず、いつも元気をもらっています。振り返ってみると白髪が増えてきた仲間もいて、年月の流れを感じています。

最近の仲間だと竹地さん。最初のころは怒って椅子から降りてしまいカットができず、ヘアカット代を返金したこともありました。職員さんが事前にヘアカットがあることを丁寧に伝えてくれたこと、声をかけてくれたことで、少しずつ慣れていく姿がありました。目が見えない分「後ろを切るよ」「耳のうしろだから危ないよ」など、不安が少しでも減ればと思って声をかけさせてもらっています。今ではじっと座って、時々大きなあくびをしたりリラックスした表情をみせてくれます。こんな瞬間、受け入れてもらえたなと感じます。こういった仲



声をかけながらゆっくり丁寧にカットして下さいます

間の変化がとても嬉しく、私のやりがいにも繋がっています。

父が床屋をやっていたこともあり、理容師の道に進みました。資格をとって53年、今年で74歳をむかえますが生涯現役で仕事を続けたいと思っていますし、元気なうちは第二いぶきさんにきて仲間とお話しをしながら楽しくヘアカットを続けていきたいと思っています。これからもよろしくお祈りします。



ヘアカット終わってスッキリしました!



# 数字で見るといぶき

2024年度のいぶきの活動を象徴する数字を集めました。



オリジナル商品の数

**52品**

(昨年度:51品)



仲間の平均給料  
(月額)

**15,427円**

(昨年度:15,439円)



商品の売上金額  
(法人全体)

**41,071千円**

(昨年度:35,535千円)



寄付金額  
(法人全体)

**12,479千円**

(昨年度:7,845千円)



ファミリー会員数

**765人**

(昨年度:753人)



仕事の  
パートナー数

**86**

(昨年度:80)



メルマガ  
登録者数

**2,921人**

(昨年度:2,535人)



## 2024年度財務報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	社会福祉事業			P8の「活動を支えるお金」の項目		
	当年度決算	前年度決算	増減			
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	41,071,860	35,535,820	5,536,040	事業収益(仲間が生産などに関わる)
		障害福祉サービス等事業収益	725,404,474	735,044,699	▲9,640,225	
		補助金事業収益	8,430,360	7,439,230	991,130	公的資金
		受託事業収益	10,812,036	11,676,870	▲864,834	公的資金+事業収益(仲間が生産などに関わる)
		その他の事業収益	2,956,980	0	2,956,980	寄付や会費
		経常経費寄附金収益	12,479,123	7,845,807	4,633,316	
		サービス活動収益計	801,154,833	797,542,426	3,612,407	
サービス活動増減の部	費用	人件費	587,490,465	557,456,417	30,034,048	職員の人件費支出
		事業費	90,956,948	86,580,459	4,376,489	障害福祉サービス活動等の支出
		事務費	82,687,337	82,934,234	▲246,897	仲間の給料などの事業支出
		就労支援事業費用	42,043,270	39,625,409	2,417,861	
		減価償却費	31,574,350	32,739,869	▲1,165,519	固定資産の減価償却費
		国庫補助金等特別積立金取崩額	▲13,375,586	▲13,744,997	369,411	国庫補助金の減価償却費
		サービス活動費用計	821,376,784	785,591,391	35,785,393	
サービス活動増減差額	▲20,221,951	11,951,035	▲32,172,986			

### 収益(収入)

**就労支援事業収益** 大地のかりんとう、岐阜県美術館のフェルトやかりんとうなどの売上が伸びました。卸先拡充のほか、30周年記念事業や「ほとり」のオープンもあり、関係づくりの中でいぶきの商品を手にする方々が増えました。

**障害福祉サービス等事業収益** 延べ利用者数が2023年度対比で通所事業所▲700人、グループホーム▲400人、利用が減少しました。単価改定の影響もありました。

**補助金事業収益、受託事業収益** 物価高騰対策、孤独・孤立対策などの補助金、ガバクラ交付金に加えて、日光町の家の緑化事業や競輪の福祉車両事業など。リサイクルセンターの委託事業も含まれます。

**その他の事業収益** 「ほとり」の整備でクラウドファンディングを実施、275人の方々にご支援をいただきました。

**経常経費寄附金収益** いぶきファミリー会費、ぎふハッピーハッピープロジェクトパートナーからの継続寄付です。活動や建物修繕などに活用しました。

### 費用(支出)

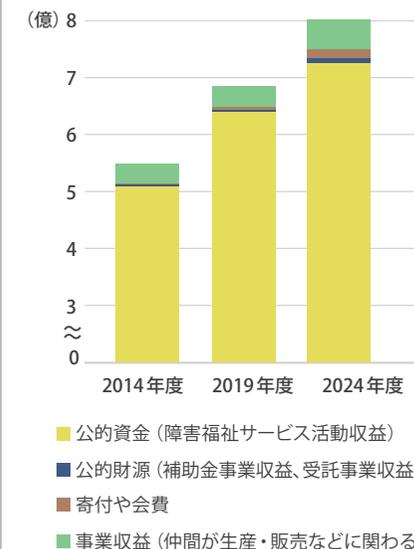
**人件費** 人件費率(人件費/サービス活動収益計)は73.3%。社会保険の適用拡大が2024年10月から始まり、社会保険料の支出が大幅に増えました。

**事業費** 電気・ガスの光熱費やガソリン・軽油の車輛費の高騰が依然として続いています。

**就労支援事業費用** 仲間の平均給料は月額15,427円。昨年度より▲12円の減額。売上は増えたものの、仲間給料のベースアップはできませんでした。

**サービス活動増減差額** 減価償却費を含めた増減差額です。マイナスになりましたが、これまでの繰越額で法人の財政を維持できています。

### 財源の推移(活動を支えるお金)



事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。又、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年6月3日 監事:井川 俊二 監事:早野 幸広





いぶきファミリー団体会員のみなさま、  
ぎふハッピーハッピープロジェクトパートナーのみなさま (🍀)

食品や雑貨などをご自宅までお届けします。  
コープヘル 0120-706-887

人権尊重と非営利

社会福祉法人  
みどり福祉会  
〒501-3113 岐阜市北山1丁目15番25号  
TEL:058-244-1210

有限会社  
車屋商店

プロパンガス・ガス器具・米・灯油

TEL: 058-229-1321

DUNKSOFT

明るく楽しいデジタルの未来をつくる  
—ダンクソフトのグランド・ナラティブ—

KYOKUTO

極東サービスエンジニアリング株式会社

代表取締役 清水 守  
〒140-0002 東京都品川区東品川3丁目15-10  
TEL.03-5781-9833

句長 KUSUGU  
https://ku-gu.com

One Step

ホームページ制作・DTP・パソコン販売修理

株式会社ワンステップ  
〒500-8356 岐阜県岐阜市六条江東1丁目1番3  
☎ 058-214-8505  
✉ info@onestep65.com

長良川流域文化を未来につなげる

●長良川デパート ●CASA stella  
●長良川めぐる ツアーズ ●和傘CASA  
●長良川てしごと町家 CASA ●ORGANキモノ

株式会社  
岐阜ガレーヂ

本 社：岐阜市京町2-12 TEL058-265-0301  
第二工場：岐阜市黒野南1-84 TEL058-239-3541

未来の福祉社会の設計へ・・・  
ICS は福祉システムを通じて、  
広く社会に貢献したいと考えております。

株式会社 ICS

アイシーエス姫路市ウエルフェア株式会社  
《重度障がい者多数雇用モデル事業所》厚生労働省認定  
TEL.079-235-0066 URL: https://www.ihw.co.jp

消防用設備 災害備蓄品

株式会社 三陽商会

岐阜支店：岐阜市真砂町4-15  
TEL: (058) 267-6556  
FAX: (058) 267-6557

DUSKIN

喜びのタネをまこう

株式会社 ダスキン長良  
TEL.058-232-4147

杉山製作所

鉄家具 アイアン建材 コントラクト家具 店舗什器  
501-3829 岐阜県関市旭ヶ丘3-13  
www.kebin.jp

福祉を切り口とした  
調査・計画づくり・出版など

株式会社エディケーション

https://edication.jp

挑戦の伴走者に、  
熱意のつなぎ役に。

https://gifist.net/

ライオン業務用代理店

有限会社  
ハロー産業

〒501-1136 岐阜市黒野南3-153-1  
TEL.058-234-0620

山本佐太郎商店

ORPHIS GL9730

A4サイズ 片面フルカラー  
最速165枚/分 1.44円/枚

株式会社  
ジブブレン

本社・岐阜支店/〒500-8382 岐阜市藪田東2-8-13  
TEL 058-273-5566 FAX 058-273-1564

信条は「薬は必要最小限に。」

伊佐地薬局白菊店

有限会社メディカル・アシスト・アイ  
岐阜市白菊町2-28

TOTAL CAR SERVICE  
G-TWO

有限会社 ジーツー

岐阜県関市武芸川町谷口1727-1  
TEL.0575-46-3816

Smile Mi

株式会社 ミツオ

愛知県名古屋市中区熱田区新尾頭三丁目4番25号  
本社TEL.052-682-1603

悩まないでまず弁護士にご相談ください

弁護士法人  
岐阜合同法律事務所

TEL058-264-3780  
http://www.gifugodo.jp/

あるものはいかそう ないものはつくろう

miyukidesign inc.

Ecoplan

建築企画・設計・監理  
株式会社エコプラン

代表取締役 林 直見

岐阜市鏡島精華2丁目4番15-101  
TEL: 058-255-0345  
E-mail: eco@ecoplan.co.jp  
URL: http://www.ecoplan.co.jp

建築・設計・施工・リフォーム・不動産

株式会社 相宮工務店

〒500-8034 岐阜市本町2丁目17番地  
TEL058-262-5505(代)  
FAX058-262-4184

生命保険・損害保険の代理店です

株式会社  
MIMAMORU  
—ミマモル—

TEL(058)215-9137  
FAX(058)215-9138  
Email: mimamoru@kir.biglobe.ne.jp

弁護士法人  
長良橋通り法律事務所

岐阜市神田町1-10-2小森ビル2F  
TEL.058-262-5644

株式会社  
LIMES

Live Interior of Modern from  
Eternable Standard

インテリアショップ ライムズ  
大垣本店 モレタ店 美濃加茂店

LIVING DESIGN

https://www.live-ing.com/  
〒500-8007 岐阜市元浜町35-1 Tel. 058-262-2954

和模型工房

www.wamokei.com  
〒500-8286 岐阜市西錦3-65-1

地方の未来をおもしろくする

株式会社リーピー

Web制作・生成AI活用・採用支援  
https://leapy.jp

創業天保六年(1835)

合資会社 白木恒助商店

TEL.058-229-1008

未来を創造するための会計

藤垣会計事務所

税理士 藤垣 寿通  
TEL (058) 215-1030

一新建設株式会社

災害時に避難所に行かなくてもいい家づくり

建築施工 ISHIN | 建築設計 At Hearth

各種損害保険・生命保険代理店

有限会社  
アイエイプランニング

HOUSEDO

ハウストゥ岐阜東島  
株式会社グラホス

〒502-0913 岐阜市東島2-14-6  
TEL 058-201-3811

株式会社尾州設備

〒494-0008 愛知県一宮市東五城字西大堀12番地1  
TEL.090-4085-5426

ほとり  
GIFU  
IBUKI

社会福祉法人いぶき福祉会 年次報告書 2024  
《夢よもっとひろがれ》

発行日 2025年7月  
発行人 岡本浩明  
編集責任者 北川雄史  
制作 いぶきデザイン室 山本友美  
協力 いぶきの仲間たち

社会福祉法人いぶき福祉会  
〒502-0907 岐阜市島新町5番9号  
TEL: 058-233-7445